

# 高校受験対策・関数21

右の図で、直線  $\ell$  は関数  $y = -x + 6$  のグラフで、 $x$  軸上に点  $A(-1, 0)$ 、点  $B(4, 0)$  を、 $y$  軸上に点  $C(0, 4)$  を、それぞれとる。また、直線  $\ell$  上の  $x > 0$ 、 $y > 0$  の部分に点  $P$  をとる。このとき、次の各問いに答えなさい。

① 2点  $A$ 、 $C$  を通る直線の式を求めなさい。

②  $\triangle ABP$  の面積と  $\triangle ACP$  の面積が等しくなるときの点  $P$  の座標を求めなさい。

